

四月二十四日	一、十五時〇〇の奄美要塞ヨリ左記通報ヲ受領ス
(月) 曇	1. 大島海軍防備隊
中大東島派	2. 二十四日一時三十分北緯三六度四分東經一三〇度三十分
遣部隊遭	3. 大東島派遣船團(陸軍兵乗船)敵潛ノ攻撃ヲ受ケ
難ノ件	一隻沈没ス
	4. 沖繩ヨリ護衛艇ニヲ急派シ護衛ニ任セシム
	5. 敵状況及兵員救出ニ関シハ不明ナリ
	6. 中大島派遣部隊ハ南大東島ニ待機ノ予定ナリ
	1. 高嶺谷(南緯三十三度三十分東經一三〇度三十分)
	2. 北緯三十五度三十分東經一三〇度三十分
	3. 北緯三十三度三十分東經一三〇度三十分
	4. 北緯三十三度三十分東經一三〇度三十分
	5. 北緯三十三度三十分東經一三〇度三十分

四月二十五日	一、十三時〇〇八枚多謀着任ス
(天) 晴	二、〇六時〇〇佐古俣鎮守ヲヨリ左記通報ヲ受領ス
敵潜ニ関ス	1. 二十四日二十時四十分
件	2. 北緯三八度一十分東經一三三度二十分敵潜ヲ
	探知ス
	三、五時〇〇南大東島通信所ヨリ左記通報ヲ受領ス
	1. 中大東島無線隊ハ二十四日十七時本島出發ス
	2. 北大東島無線隊ハ隊假開設完了ス
	3. 南大東島揚陸作業困難ニシテ無線隊器材
	二十五日揚陸開始ノ隊定ナリ

中大東島防備隊ヨリ通報ニ依ルニ南大東島派遣
陸軍部隊ハ二十四日十三時到着セリ

四十六、五〇有美要塞ヨリ大東連報ヲ受領ス	中大東島派遣部隊遭難件
1. 大島海軍防備隊	
2. 指揮官船(約三十名乗船)敵艦ノ攻撃ヲ受ケ沈没ス	
3. 指揮官横田中佐ノ生死不明ナリ	
4. 現地天候不良ノ爲派遣部隊南大東島ニ待機中	
5. 海軍ヨリ護衛船ヲ増派シ状況ニ依リ中大東島ニ進出ノ豫定ナリ	
大島海軍防備隊ヨリ大東連報ヲ受領ス	
1. 陸水丸エビス丸敵艦ニ依リ行方不明ナリ	
2. 横田中佐外大隊本部ヲ急討四十名消息不明ナリ	
3. 捜索續行中モ状況ヨリ見テ敵トシテ戦死ハシル	

戦死ヲ遂ケタルト略確実ナリ

四月二十日	一 軍司令官久良波港及名護警備隊ヲ巡視ス
(水)曇	二 〇二〇一台湾軍ヨリ大東連報ヲ受領ス
敵艦聞ル	1. 高山壽山西方三十科敵艦ヲ探知ス
件	2. 駆逐艦及対潜哨戒機ヲ監視中
	三 一九、二〇方第八十五兵站警備隊長ヨリ大東連報ヲ受領ス
	1. 作戦進備向(陸水丸)二十四日一時三十分敵艦ノ爲遭難セルモノ也
	2. 遭難者輸送指揮官横田中佐(副官柴沼中尉)石植中尉下士官四名 共十一名
	3. エビス丸乗員消息不明ナリ
	4. 遭難者山本中尉下士官二名 共十三名
	5. 中大東島部隊八二十四日無事上陸ス

6. 中大東島部隊ハ二十五日乗船二十六日出港予定ナリ
 7. 南大東島貨物揚陸ヤレテ風浪高キ爲ニ復シ如ク進捗ヤス

四月二十七日

天晴

- 一 軍司令官伊江島飛行場ヲ巡視ス
 - 二 八奈參謀大東島派遣部隊指導ノ爲ニ即日歸還ノ豫定ヲ以テ大東島ニ出張ス
 - 三 池田(自)崎(夏)羽田(官)參謀部附トシ着任ス
 - 四 四〇七〇三環球丸ヨリ左記通報ヲ受領ス
- 件
- 1. 二十七日 四時十分 敵艦アリ
 - 2. 北緯二七度四分 東經一三八度二分
 - 五 一六四〇分 奄美守屋ヨリ左記通報ヲ受領ス
 - 1. 喜界島 早町監視哨

四月二十八日

(金)晴

- 一 軍司令官民情視察ヲ爲シ全武島出張ス
 - 二 二〇、〇一〇台湾軍ヨリ左記通報ヲ受領ス
- 敵艦二隻
- 1. 拓南丸 敵艦没潜水艦アリ
 - 2. 北緯二四度五三分 東經一三三度四五分
- 件
- 1. 喜界島 早町監視哨
 - 2. 北緯二七度四分 東經一三八度二分
 - 五 一六四〇分 奄美守屋ヨリ左記通報ヲ受領ス
 - 1. 喜界島 早町監視哨

四月二十九日
八股參謀 緊要事務連絡之爲問司 鹿児島
(土) 晴

輸送船電
九時十五分大島海軍防備隊より大記運報ヲ受領ス
ニ関スル件
一、二十七日 四時五十五分

二、北緯三度十六分 東經一三八度三十分
三、玄武丸 敵雷電ヲ多クシニ分後沈没ス
三、遭難者六名内行方不明三
生存者中一名ハ海軍 六名ハ百仁屋本願寺ニ
收容セラル

五、海軍専用ノ監視船ニ北緯三八度三十分
東經一八九度一四分 敵雷ヲ突見 爆音政射ノ
跡果成功概不確実ナリトシ

四、五時三十分在美豊港ヨリ大記運報ヲ受領ス
一、早所港ニ漂着ノ山本少尉以下十六名及工兵丸
ハ海軍艦艇ニ依リ曳航ス
二、大東島 派遣船團ハ二十八日朝古仁屋ニ曳引港ノ
三、定ナリ

三、南大東島ニ福澤中尉以下 上陸シタルモ 陸小丸ノ
行方依然不明ナリ

四月三十日
八股參謀 緊要事務連絡之爲問司 鹿児島

百目書

二 一〇一五 久米島の記述 連報 急須ス

敵艦の米

1. 二十時二十分 久米島北東近海に砲撃アリ

島攻撃件

2. 久米島東段場 後方山 直に砲撃アリ 其阿喜加附近

相違船の射撃アリ

3. 目下被害を調査中

4. 一発の二坪の家屋に命中し 負傷一人 其他人廿名に

圍込アリ

5. 敵艦防圍に在郷軍人にて敵艦を戒中

件

作命ハ別紙にて一拾二計書也ナリ

軍事秘

年

昭和十九年五月分

陣中日誌案

陸

軍

五月一日 一、球作命甲第六號ニ依リ特設發言備第三二中隊ヲ

(月)雨 軍直轄トス (別紙第一)

敵潛艇撃ニ〇ニ〇〇久米島被害調査部隊ヨリ左記報告ヲ受
被害ニ関ス 領ス

ル件

一、本ニ三三〇受信機故障恢復セリ

二、敵ハ二十八日一九ニ五ヨリ約二十分間ニ具泊部落ヲ

目標トシ海岸ヨリ約十五百米沖合ヨリ射撃手シ

西北方ニ進行セリ

三、發射彈ハ約三〇發ノ見込ニシテ不發彈トリスルニ

十加ミシテ夫銳彈ナリ

四、損害半壞一家屋損害六 重傷者各一

三、佐伯曹長參謀部ニ於テ且勳章カス

五月二日	一六四〇台湾軍ヨリ左記速報ヲ受領ス
(大) 雨	一〇、三三三 敵潛ヲ探知ス
敵潜ニ関	二北緯二三度 東經一一八度〇四分
ニ件	二二二〇〇監視隊本部ヨリ左記速報ヲ受領ス
	敵潜ニ米島(真泊)沖ヲ東へ進行中
	三二二、五〇久米島局長ヨリ左記速報ヲ受領ス
敵潜ニ関	一七真泊部落ヨリノ通報ニ依ルニ本一九三一頃(真泊)
ニ件	沖合ヲ敵潜ウレキモノ東方ニ進行中
	二、調査ノ上状況報ヲス
指令	四球作命ノ第一號ニ依リ金子技師ニ對シ徳ノ島北飛行場
	設定ノ繰行ヲ命スト共ニ南飛行場ノ設定準備ヲ命ス
五月三日	(別紙第一)
(水) 雨	一〇、四五〇台湾軍ヨリ左記速報ヲ受領ス
敵潜ニ関	一、友軍機 一〇、二〇〇

五月四日	
(木) 雨	一、八板參謀福岡君張ヨリ歸艦ス
敵味方不	二〇七、二〇奄美要塞ヨリ左記右輝連絡報ヲ受領ス
用爆音ニ	一、輿論島監視哨ノ報ヲ依ルニ二六北緯ニ敵味
	二、我が船團敵潜ノ攻勢ヲ受ク 詳細不明ナリ
	三、北緯二三度 東經一一七度(高雄西有約四〇〇料)
	三二四〇〇台湾軍ヨリ左記速報ヲ受領ス
敵潜ニ関	二、大焼島東北方約一哩潜水艦ヲ見キモノ見ニ
ニ件	一、火焼島監視哨 二、二五
	二、一七五台湾軍ヨリ左記速報ヲ受領ス
敵潜ニ関	二北緯二三度(船團右側五哩) 敵潜
ニ件	一隻見ニ

聞ルル件	方不明機関銃及砲聲音連續ニラ聞ユ
輸送船雷	二、二、三五 北方上料ノ地臭ニ於テ敵味方不明爆發燈火ヲ認ム敵不明ノ發動機、三日南ハ進行中
敵手ニ聞スル	三、一、五七 奄美要塞ヨリ左記速報ヲ受領ス
件	ト與、論島監視哨 横佐船團
	ス、三日二、二〇 敵潜ト交戦敵ノ銃撃ヲ受テ一隻沈没
	他、與論島ハ回避ス
	3. 交戦位置魚ハ北緯ニ七度〇九分 東經一三八度二四分
	四、球儀ノ了了第三号ニ依リ中域海軍司令部ヨリ令付ニシテ
	中域海軍陸軍病院ヲシテあるノ内沖崎東務行場
五月五日	北緯ニ七度〇九分
(金)曇	三宅参謀部昨九年度術料試験委員ヲ印セシ

陸軍

五月六日	(王)晴	一、参謀本部某二課長服部大佐外五名作戦進捗状態ヲ聴取ノ爲軍司令部ヲ訪問ス
	敵潜ニ関スル件	二、〇六〇。佐世保鎮守府ヨリ左記速報ヲ受領ス
		1. 六日 〇三ニ六 敵潜アリ
		2. 北緯ニ三度一八分 東經一三度二分
五月七日	(日)晴	一、三宅参謀部兵要地誌調査及南大東島部隊状況視察ノ爲即日歸艦ノ予定ヲ以テ南大東島ニ出張ス
		二、〇、一、五 西軍ヨリ左記速報ヲ受領ス
		ト一、三、五 機 高雄西南方約三〇ノ料ニ於テ船団ト交戦中

五月八日

(月) 雨

一、軍司令官 廳舎内及通信隊ヲ巡視ス

參謀長ハ系參謀・三宅參謀隨行ス

二、五五 台湾軍ヨリ五記連報ヲ受領ス

1. 建川丸・六〇・五

2. 北緯一九度〇二分 東經一一〇度〇八分 (高雄南方 納四〇〇料) 敵潛アリ

五月九日

(天) 曇

一、軍司令官 津堅地區ヲ巡視ス

參謀長 八原參謀隨行ス

ス、一、四、四 太平洋西海面地區警戒警戒報發令中

三、〇、三、〇 台湾軍ヨリ五記連報受領ス

1. 澎湖島要塞司令部

2. 一九二五 澎湖島猫島 東方海上ニ敵潛發見シ 海軍八目下攻島中ナリ

四、一、三、三〇 奄美要塞司令部ヨリ五記通報ヲ受領ス

1. 陵水丸ニ関シテ、其後徴候ナシ

2. 海軍ニ於テモ飛行機及艦船ヲ以テ搜索シタルモ得ル所ナシ

3. 兵員ハ早戰死ト確認ス

五、一、七、〇 佐世保鎮守府ヨリ五記連報ヲ受領ス

1. 六日一五、三〇 潜約ヲ鏡見ス

2. 北緯二六度一分 東經一三〇度五三分 (南大東島北西 五十料)

五月八日

(月) 雨

一、軍司令官 廳舎内及通信隊ヲ巡視ス

參謀長ハ系參謀・三宅參謀隨行ス

二、五五 台湾軍ヨリ五記連報ヲ受領ス

1. 建川丸・六〇・五

2. 北緯一九度〇二分 東經一一〇度〇八分 (高雄南方 納四〇〇料) 敵潛アリ

五月九日

(天) 曇

一、軍司令官 津堅地區ヲ巡視ス

參謀長 八原參謀隨行ス